

ラメッシュ・アナンダ・ヴァイディア次期駐日ネパール大使による歓迎の辞

ご来賓の皆様。

本日は、ゴルカ・ダクシナ・バフ勲章をお渡しするセレモニーにご参列頂き、誠に有難うございます。数ヶ月前、正確には2003年11月21日、国王陛下により4名の日本人の方々に勲章が叙勲されました。本日皆様にお集まり頂いたのは、当日ナラヤンヒティ王宮での叙勲式にご出席が叶わなかった三浦雄一郎様と深田健様に、勲章をお渡しさせて頂くためです。

国王陛下は三浦様にスーブラバラ・ゴルカ・ダクシナ・バフ勲章、深田様にプラバル・ゴルカ・ダクシナ・バフ勲章を贈られました。三浦様のスキーと登山のご功績、そして深田様の災害復旧へのご貢献により、ネパールと日本の両国の絆は一層深まりました。

日本人によるヒマラヤ登山の功績の歴史は、およそ50年にもわたります。シェルパ族の言葉でエベレストは「あまりにも高くして鳥が越えることのできない」山として知られています。三浦様がエベレストで世界最高地点からスキー滑降を成し遂げられた事は、ヒマラヤにおける人類の冒険史の中でも大きな快挙です。その後30年以上にわたり、三浦様は「エベレストでスキー滑降を成し遂げた人」として知られてきました。さらにここ2年間で、チョー・オーユーとエベレストの2峰を登頂されています。

ヒマラヤ山脈は、水の供給源として、ガンジス川流域の古代ヒンズー教および仏教文明の発展に主要な役割を果たしてきました。ヒマラヤ山脈を源に、ネパールから流れ出る水は、ガンジス川の年間水量の3分の1以上を占めます。ネパールの強みは、その水量と水が流れ落ちる標高差にあります。また、ネパールは水力発電の大きな潜在的可能性を秘めており、そのうち半分以上は経済的にも実現可能です。国際開発銀行と共同で実施された日本政府の借款により数々の発電事業が完成し、これらの発電能力は現在の国全体の発電能力の40%を占めます。

水資源には、適切な管理と開発が必要です。ネパールではここ10年間で、毎年モンスーンの季節には、洪水や川の氾濫などの水害が人々の生活や財産に大きな被害を加えてきました。構造的な保護、河川流域の管理、地域住民の防災に関する意識を高める活動などの災害軽減対策を通じて、水の危険性を抑制する必要があります。地域住民の防災意識を高め、防災情報の管理に従事された深田様のご活躍は、ネパールの地域住民に直接的な恩恵をもたらしました。

2006年9月1日にネパールと日本の両国は国交樹立50周年を迎えますが、その準備を進めていく中で、三浦様と深田様のご関心分野をさらに追求していく方法を考えることも可能です。例えば、冒険としてのスキーや登山をきっかけに、もっと気楽に皆が楽しめるレジャーへと可能性を広げて、観光業の発展に繋げていくこともできます。また、水資源の開発や管理のための投資をより魅力的なものにし、国の平和と繁栄に繋げていける可能性もあります。ネパールの良き友人である皆様、今後とも皆様よりご指導ご鞭撻を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

## 参 考

### ゴルカ・ダクシナ・バフ勲章について

ゴルカ・ダクシナ・バフ勲章は国内外でネパールに貢献したネパール人および外国人に対して、国王陛下から贈られる勲章です。毎年国王陛下の誕生日（7月7日）に授章者が発表になり、数ヶ月後にカトマンズのナラヤン・ヒティ王宮にて、国王陛下から直接勲章が手渡されます。ゴルカ・ダクシナ・バフ勲章の制度が始まったのは、1960年代中盤で、毎年700-800名（ほとんどがネパール人、外国人は毎年20-25名程度）が授章しています。日本人の授章者は年にもよりますが、ここ数年は毎年3-4名が授章しています。

勲章は5等級に分かれており、勲章の名前は上位の勲章から下記の通りです。

Su-prasiddha Prabala Gorkha-Dakshina-Bahu

（ゴルカ・ダクシナ・バフ勲章第1等級章）

Prasiddha Prabala Gorkha-Dakshina-Bahu

（ゴルカ・ダクシナ・バフ勲章第2等級章）

Su-prabala Gorkha-Dakshina-Bahu

（ゴルカ・ダクシナ・バフ勲章第3等級章）

Prabala Gorkha-Dakshina-Bahu

（ゴルカ・ダクシナ・バフ勲章第4等級章）

Gorkha-Dakshina-Bahu

（ゴルカ・ダクシナ・バフ勲章第5等級章）

勲章の等級は、授章者の方の社会的地位とネパールに対する貢献度を厳正に審査した上で決まります。

#### 最近の日本人授章者（役職は当時）

第1等級章      1997年 奥田敬和衆議院議員（日ネ友好議員連盟会長）  
                  1998年 橋本龍太郎衆議院議員（日ネ友好議員連盟名誉会長）

第2等級章      1999年 土屋義彦埼玉県知事  
                                日本医師会会長 坪井栄孝氏  
                  2000年 三重野栄子参議院議員（日ネ友好議員連盟メンバー）  
                  2001年 松下忠洋衆議院議員（日ネ友好議員連盟事務局長）  
                                久保亘前参議院議員（日ネ友好議員連盟会長）

第3等級章・第4等級章に関しても、毎年2-3名が授章しています。

#### 今回の状況

- ・ 日本人は4名が受章し、2月24日に在日本ネパール大使館で授章式が行われた。
- ・ 受章者はプロスキーヤーの三浦雄一郎氏、ヒマラヤの観光関係会社社長、NGO 団体関係者の3名が3位を受章。新潟県の深田健氏は4位を受章した。

平成16年2月27日(金)

新 潟 日 報

(日刊)

# 防災技術普及に貢献

## 県土木部 ネパールから勲章 深田さん

ネパールで洪水や土砂災害の防止に尽力したとして、県土木部が防線主任の深田健さん(三三)がネパール国王から勲章を授けられた。深田さんは二十六日、平山征夫知事に受章を報告した。

深田さんは柏崎市出身。二〇〇二年五月から二年間、国際協力機構(JICA)が同国で進めている自然災害軽減プロジェクトに派遣され、現地技術者に日本の防災技術を普及させた。同国東部のインド国境付近で住民ボランティアとともにネパール初の河川公園建設にも尽力し、公園は深

田さんの名字を取って「Fukada River Park」と命名された。受章報告に対し平山知事は「実業でネパールに貢献して受けた勲章だから、非常に価値が高い」と祝福。深田さんは「現地ではコンクリートが高価なので、石や竹を使って工事をしました」と活動の振り返りをした。

### 一般入試合格者 344人を発表

県立女子短大

県立新潟女子短大(新潟市)は二十六日、二〇〇四年度一般入学者選抜試験の合格者三百四十四人を発表した。生活科学科など四学科合わせて二百六十六人の募集定員に対

し、八百七十六人が受験し、実質競争倍率は二・五倍(〇三年度一・六倍)。

一般入試に先だって行われた推薦入試を合わせた合格者は四百五十四人(定員三百七十人)で、県内出身者の割合は92・7%。一般、推薦を合わせた実質競争倍率は二・五倍で昨年と同じ。

